

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・危険防止のため門扉は常時施錠されている。 ・来客者から入り口が分かりづらいとの声を聞くことがある。	・日中に門扉を開放する時間帯を作る。	・身体拘束防止の取り組みの一環として、門扉を施錠しないことのメリットを職員間で話し合い、開放へ向けて実態に即した試みを行う。	12月
2	10	・今年度は家族へのアンケート調査は実施していない。 ・面会時やプラン作成時に家族の意向を伺っているが、運営に関する意見等を伺う機会は少ない。	・運営に関する家族アンケート調査の実施。	・法人のQOL推進部が次年度に全施設で顧客満足度調査の実施を計画しており、調査結果はわらしべの運営にも反映させていく。	12月
3	26	・アセスメント、モニタリングの手順や方法の規定、支援計画と連動した記録方法が定められていない。	・介護計画に基づいた支援の実施。 ・情報共有できるシステムの構築。	・他施設の取り組みを参考にしながら、会議、アセスメント、モニタリングの様式、方法、手順等を検討し実施していく。	12月
4					月
5					月